

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 27 日

【評価実施概要】

事業所番号	0173501248		
法人名	特定医療法人社団千寿会		
事業所名	高齢者グループホーム プラタナス三愛		
所在地	登別市中登別町141-1 (電話) 0143-83-1111		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3		
訪問調査日	平成20年12月15日	評価確定日	平成21年3月10日

【情報提供票より】 (20年11月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 3 月 9 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 14 人, 非常勤 3人, 常勤換算	11.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円		その他の経費(月額)	光熱水費14,000 円
				暖房費(11~3月) 5,000円
敷金	有()円・ <input checked="" type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(12月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	8 名	要介護2	5 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80.2 歳	最低	70 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	特定医療法人社団千寿会 三愛病院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

登別温泉の玄関口、桜並木、緑樹豊かな地に三愛病院を母体とする、とんがり帽子が目印の高齢者グループホームがあります。ゆったりと家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりに合ったペースで、その日の思いや希望で、外出、買物、地域住民と交流を図りながら、楽しく生活が送れるホームです。利用者の楽しげな笑い声、おだやかな笑顔が印象的なホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	初めての評価です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	ユニット毎に全員で自己評価に取り組み、管理者が纏め上げています。仕事に取り組む姿勢や見直しの機会として、改善に向けた取り組みに繋がっています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)	利用者の家族、地域住民代表、地域包括センター、三愛病院参与、職員などで構成され、ホームの目的、運営方針、入居者状況が報告され、今後の要望、改善点などが話し合われています。このなかで、夜間を想定した防災訓練の取り組みを行なうなど、定期的な、機会を捉えた取り組みが行なわれています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	定期的な広報誌の発行、家族への行事案内、メンバー紹介、家族通信などを発信するとともに、多くの家族の意見、要望、また不満を聞き取る機会の確保などを期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	買物や散歩、地域行事参加などで、地域交流はされておりますが、認知症に係わる相談窓口、講座など、地域の一員とした、相互交流を図れる取り組みを期待します。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営方針が作成されており、一人ひとりの能力を最大限に活かし自立した生活、安全を守り、穏やかで充実した暮らし、地域住民と共生できる、その人らしく、さまざまな機会を利用して、地域で暮らせるように理念が作りあげられています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関ホールに掲示し、職員はネームプレートに入れて、いつでも目を通し意識して理念の実践に向けて取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の盆踊りへの参加や、登別市の豊水祭りに参加したり、三味線、手芸のボランティアなどの方々の慰問を受けたり、一緒に制作をしたりと交流を図っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員全員で取り組み、管理者がまとめあげています。仕事に取り組む姿勢や見直しに繋げています。		

登別市 高齢者グループホーム プラタナス三愛

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、利用者家族、地域住民の代表、地域包括センター、三愛病院参与、職員が集まり、ホームの目的、運営方針、利用者状況のほか、ホームでの検討事項など、今後に向けた取り組み改善点などについて、話し合わせ、サービスの向上に活かしています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所介護保険グループ担当者とは登別ケアマネ会に積極的に参加して、行政との関係を構築して、不明な事は連絡して指示をいただき、サービスの向上に繋げています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、請求書と一緒に一言手紙を入れて連絡している。家族の来訪時には利用者の生活の様子や心身の状況を報告、来訪の少ない方、遠方の方には随時電話で報告がなされています。	○	家族への広報、職員の案内、異動や退職に関する連絡など、今後の更なる取り組みを期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や要望、機会を捉えて気軽に話し合える関係作りが出来ている。意見箱を設け苦情対応体制が出来ています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は比較的少なく、スタッフ全員でケアの一貫性と影響緩和への取り組みを行っています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は希望者が参加が出来る様に計画されている。内部研修は運営法人で月1～2回行なわれている。外部研修に関する報告なども行なわれ、情報、知識の共有に繋がっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	室蘭、伊達、登別の広域連合会に月1回参加して研修、連絡、交流、見学の機会を通して、ホームの質の向上に活かしています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホーム見学のほか、馴染みの関係作りのために病院や、自宅訪問を行なうなど、利用者の視点に立ち、利用者、家族の要望を取り入れながら、馴染めるよう努力がなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ゆったりした時を共有しながら、出来ることはしていただき、利用者との生活場面の中で喜怒哀楽に関心を寄せ、思いを共感し、支え合い、お互いに安心の出来る関係作り、一人ひとりの状況に合わせ、ともに過ごせる時間が出来ています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや希望に沿いながら、フェスシート・エコマップの活用、家族からの希望もいただきながら、日々の係わりの中で声かけによる把握、希望の少ない方には行動などを観察しながら、思いや、意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1カ月に1回ユニット会議、ケアカンファレンスが開催され、利用者の日常生活の会話や動きから汲み取り、介護計画が作られています。	○	担当者会議への家族の参加を積極的に呼びかけ、意見、情報交換をしながら、より良い介護計画作成に取り組むことを期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しのほかに、最低3ヵ月に1回介護計画に対して評価を行なっている。毎日のミーティングのなかでも職員間で情報交換しながら、変化がみられる場合は、その都度介護計画の見直しが行なわれています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、家族の要望に応じて、お墓参り、買物、受診支援など、柔軟な支援が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの隣に母体の病院があり、院長が週に1回来訪して、利用者の様子を確認し、必要に応じて受診相談なども行なっています。定期受診した際には、面会時や変化がある場合は電話で家族に報告を行なっています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	月1回運営法人併設の施設会議があり、重度化や終末期の支援のあり方について、医の倫理、職業倫理の中で話し合い、かかりつけ医や家族の間で話し合いが出来る体制は出来ています。基本的に終末期は母体の病院で対応するという運営法人の方針が出来ています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの生活歴を把握することに心がけながら、利用者の状況に合わせて声掛けを工夫したり、プライバシーを損なわないように努力しています。また、面会用紙も個別式で直接職員に手渡すようになっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のゆったりした生活の会話の中で、利用者が何を望んでいるかを汲み取り、利用者のペースに合わせた支援がなされています。		

登別市 高齢者グループホーム プラタナス三愛

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年に数回、近くの食堂やデパートの食堂へ外食に行ったり、出前を取ったりして雰囲気を変え、食事を楽しむ支援を行なっています。日々の献立も食事バランスや色どりに気を配りながら、目で楽しむ工夫がされています。食事の準備、片付けも利用者のペースに合わせた支援がされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に曜日や時間に決まりはなく、自由に入浴する事が可能です。入浴希望がない方、拒む方には声掛けを工夫したり、2日に1度は気持ち良く入浴出来るよう配慮がされています。また、カーテンで仕切りを作るなど、プライバシーにも配慮がされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の掃除は利用者全員で取り組んでいます。日々の生活の中で体操や歌、様々なゲームを取り入れて楽しむ支援や、月に1～2回ボランティア(手芸、三味線、書道)などが訪問していただいているので、ユニット間の交流もあり、刺激を取り入れた支援がなされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の会話の中で体調や天候を見ながら、散歩や日光浴、買物も兼ねてドライブなどへでかけています。また家族も一緒に参加していただける行事の際には、母体の病院バスを借りて全員で出掛けたり、なるべく戸外へ出かける機会を確保した外出支援がなされています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ、20時～翌朝5時まで、防犯のため施錠しています。玄関は自動ドアで出入りの際はチャイムが鳴るシステムになっているが、スイッチの位置を工夫した、特色あるケアの取り組みがなされています。		

登別市 高齢者グループホーム プラタナス三愛

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練が実施されています。その際には消防署、警察署、地域の方々、家族へ協力を呼びかけて参加をいただきながら、改善点などの意見をいただき、良好な協力体制ができています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量が比較的少ない方には、果物やゼリーなどで栄養を補えるよう努めています。また、運営法人の管理栄養士から栄養指導も受けています。体重増加が見られる場合は、ご飯に麦を加えたり、工夫をした食事管理がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は天井が高く開放的で、天窓から自然の光がさしこみ、こだわりの手すり、季節のリースが飾られ、ゆったりとした共有スペースができています。暖房はパネルヒーターを使用していますが、乾燥防止のためにペットボトルを利用して、湿度管理にも配慮され快適に過ごす工夫がなされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前と変わらぬ生活ができるように、馴染みの家具などが持ち込まれ、居心地良く過ごせるよう配慮がされています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。